

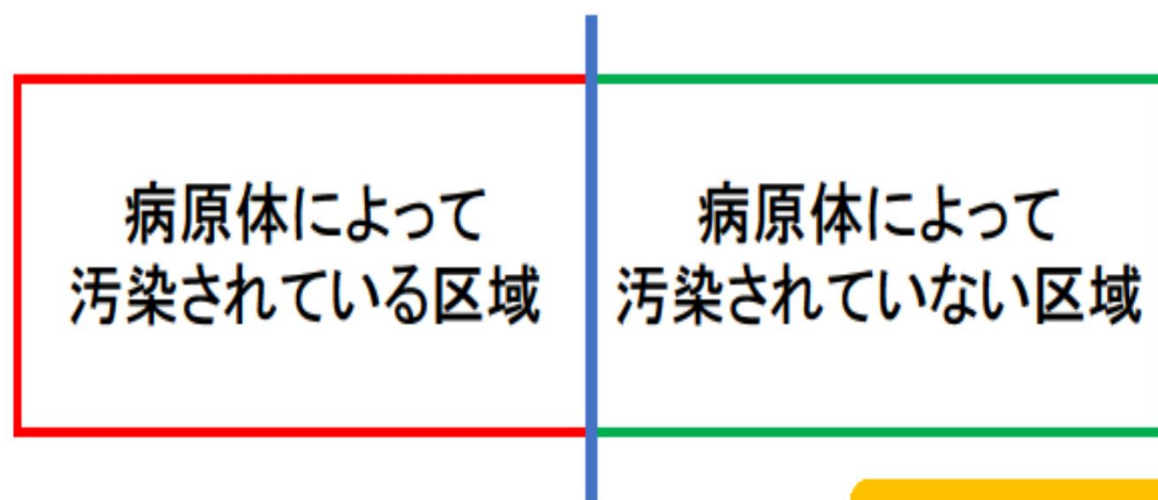
ゾーニング

大阪府感染症対策企画課

非常勤看護師 堀川規栄子

ゾーニングとは

病原体によって汚染されている区域(汚染区域)と
汚染されていない区域(清潔区域)を区別すること



明確に区分け

生活空間、食事場所、トイレ等を分ける

安全な介護の提供と感染拡大防止のための基本的な考え方

新型コロナウイルスにおける ゾーニングの考え方

空気・環境に
新型コロナウイルスが存在



レッドゾーン

(例) 隔離対象者の病室

空気には存在しないが
環境には
新型コロナウイルスが存在

最近では設定し
ないことが多い。



イエローゾーン

(例) PPE*を脱衣する場所

空気・環境に
新型コロナウイルスが存在しない



グリーンゾーン

(例) 通常業務をするエリア

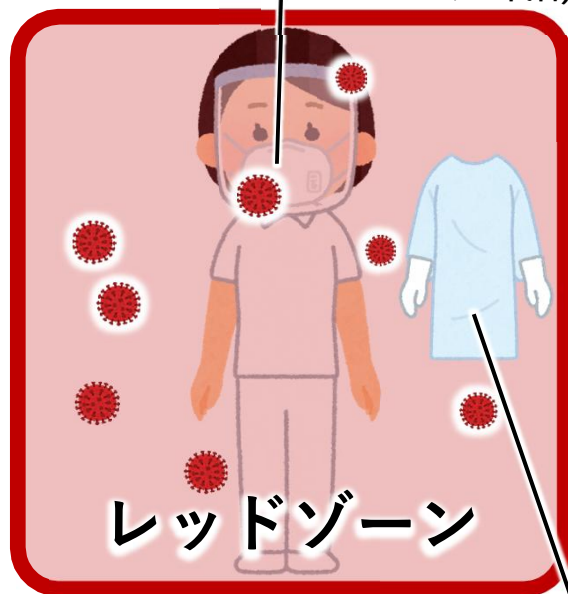
* PPE: マスクや手袋などの個人防護具

新型コロナウイルスにおける 各ゾーン進入時の基本的PPE

サージカルマスクとアイプロテクト

※ アイプロテクトは飛沫が眼に曝露しない場合、N95レスピレータはエアロゾルが飛散していない状況(見回り時など)では着用の必要性低い(N95はサージカルマスクで代替)

不織布製マスク(サージカルマスク)



ガウン・手袋は、飛沫など湿性生体物質[†]が着衣・手に曝露する場合や体位変換など直接接触する場合に着用

* PPE: マスクや手袋などの個人防護具

†: 血液や体液、粘膜など、ヒト由来の湿り気のある物質

新型コロナウイルスにおける 隔離対象者の入院病室の考え方

個室隔離可能な場合
(対象者少数)

個室隔離困難な場合
(対象者多数)



陽性者

個室

多床室

陽性者以外の同室禁忌

※ 同じ病原体に感染している患者同士では、同じ病原体が感染する可能性が低い



濃厚接触者*

個室

多床室

濃厚接触者以外の同室禁忌

※ 原則は個室隔離だが、すでに感染している可能性もあるため、病床が逼迫した場合はやむを得ない



疑似症者

個室

個室

* ここでの濃厚接触者とは施設内で認定された方を指す。
例えば、陽性となった患者以外の同室患者など。

隔離病室・病棟の基本的な管理



陽性者隔離病室は可能な限り換気し、病室のドアは必ず閉める。



新型コロナ病棟のトイレについて

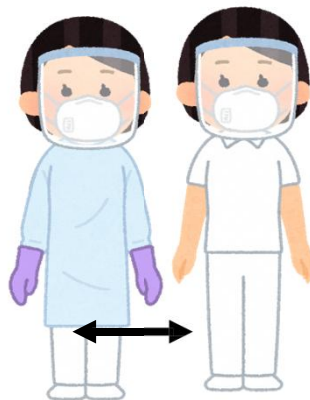
陽性者のトイレは病室内のトイレかポータブルトイレの使用が基本。

ポータブルトイレを利用できない場合は、病棟内の共同トイレをレッドゾーンと設定して利用できる。

- ※ 陽性者はサージカルマスクを必ず着用し、トイレ以外の場所に入ったりトイレの外の物品に接触しない。トイレの後はすぐに病室に戻る。
- ※ 廊下を通過する陽性者には、職員はN95レスピレーターとアイプロテクト未着用で接近しない。
- ※ 陽性者の使用する共同トイレは陽性者専用とする。

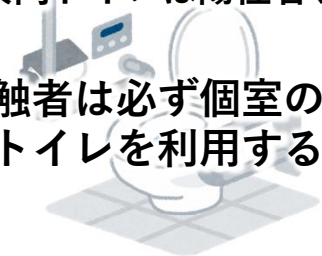
すべてのPPEは1処置(≒1患者)ごとの交換が基本

しかし、緊急時や供給不足時などは、他の患者への感染リスクが低いN95レスピレーターとアイプロテクトは1患者ごとに交換しなくても許容される。



首から下は毎回交換

疑似症患者や濃厚接触者は必ず個室のトイレかポータブルトイレを利用する。



職員全員（応援職員も）が**一目瞭然**で区分けが分かるようにする

例：

- ・衝立で境を示す
- ・色テープなどを床に貼って境界を表示

赤色は汚染区域
緑色は清潔区域
として色テープで
境界を示す



衝立などで
空間を区切る

職員全員（応援職員も）が**一目瞭然**で区分けが分かるようにする

例：
掲示物を活用

衝立や色テープで境界を示し
さらに掲示物で区分けを明確に示す



ゾーンの明確化
対策の明確化



職員全員（応援職員も）が**一目瞭然**で区分けが分かるようにする

例：

衝立で防護具の着衣と脱衣の場所を分ける

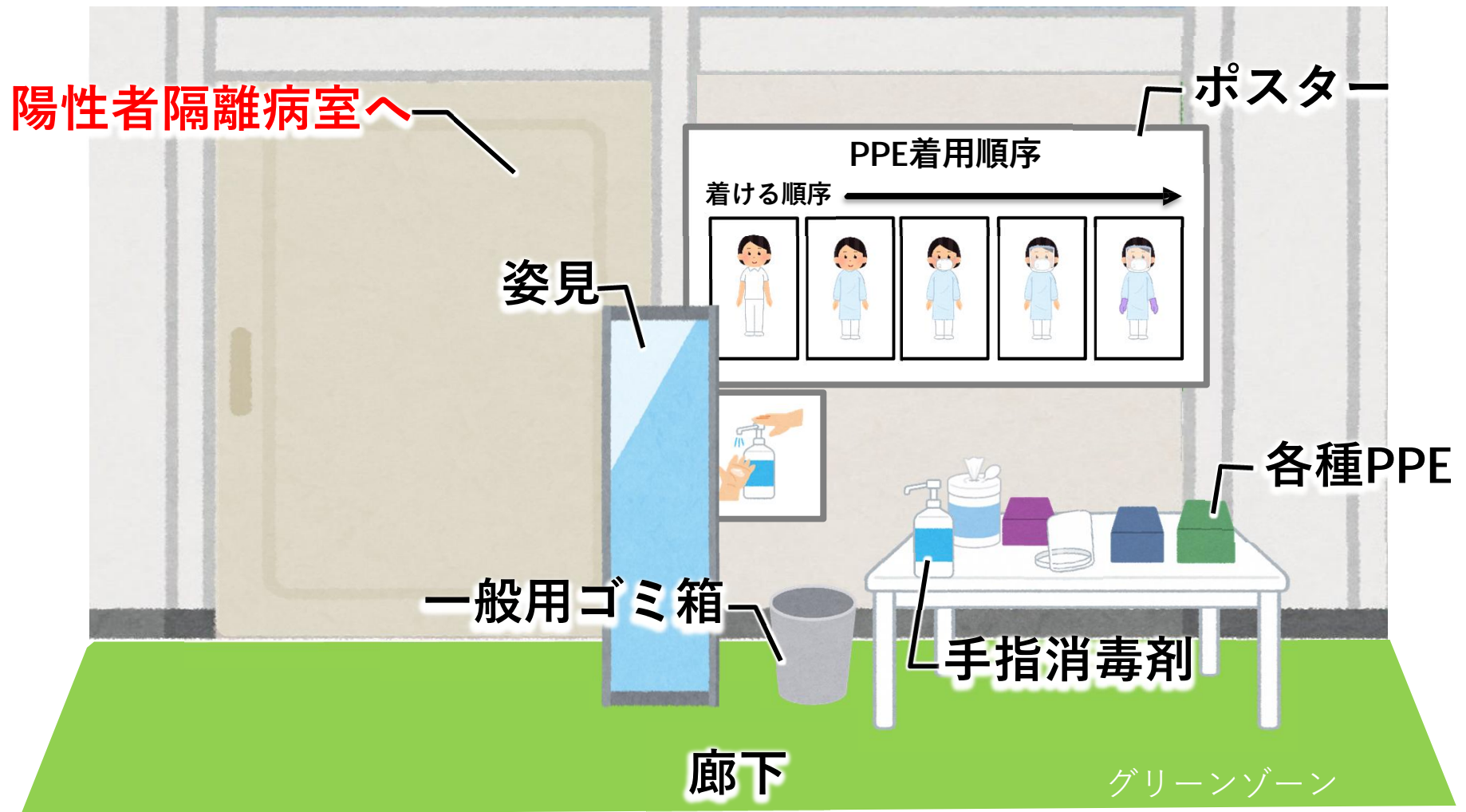


防護具の
着衣場所

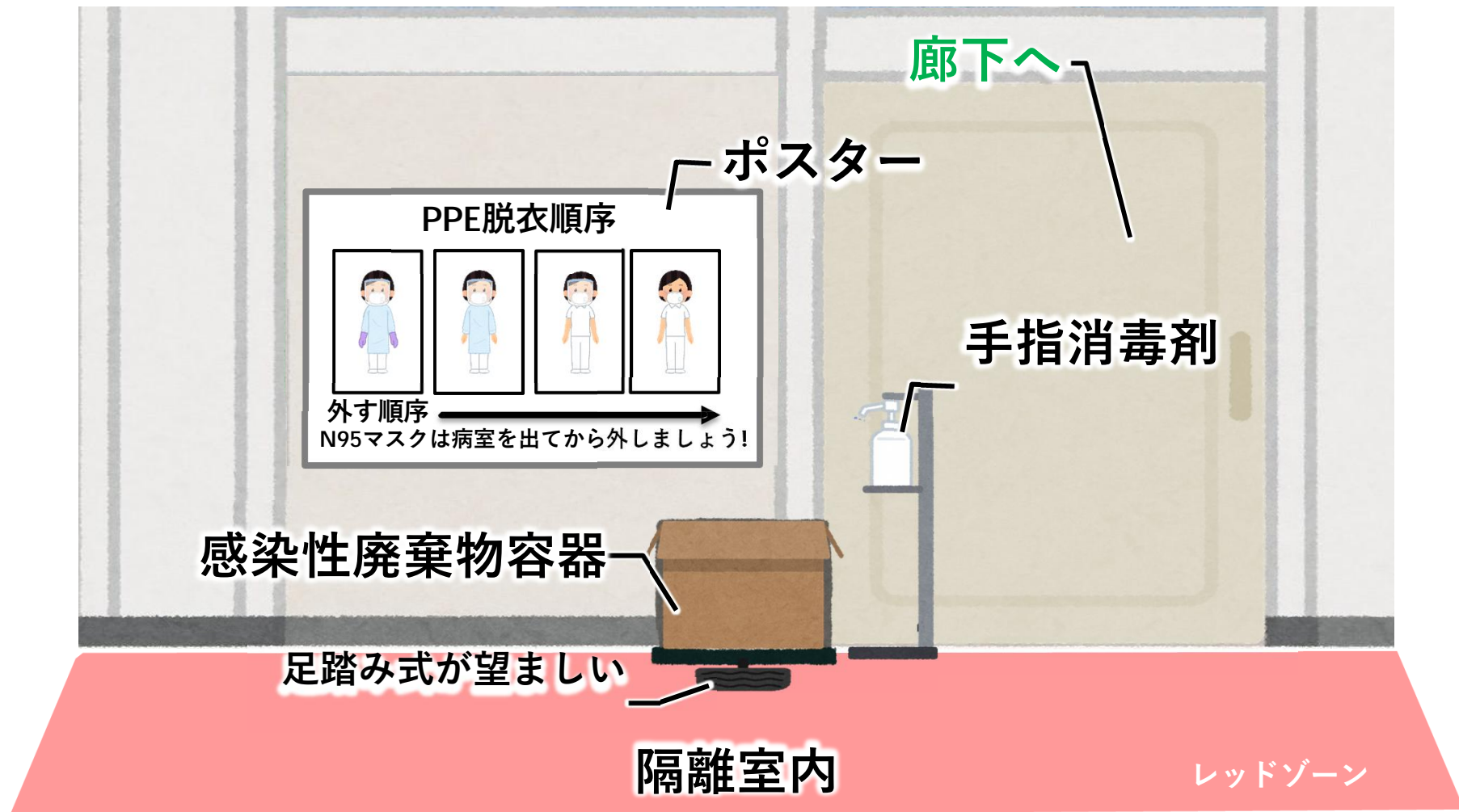


防護具の
脱衣場所

PPE着衣場所の例



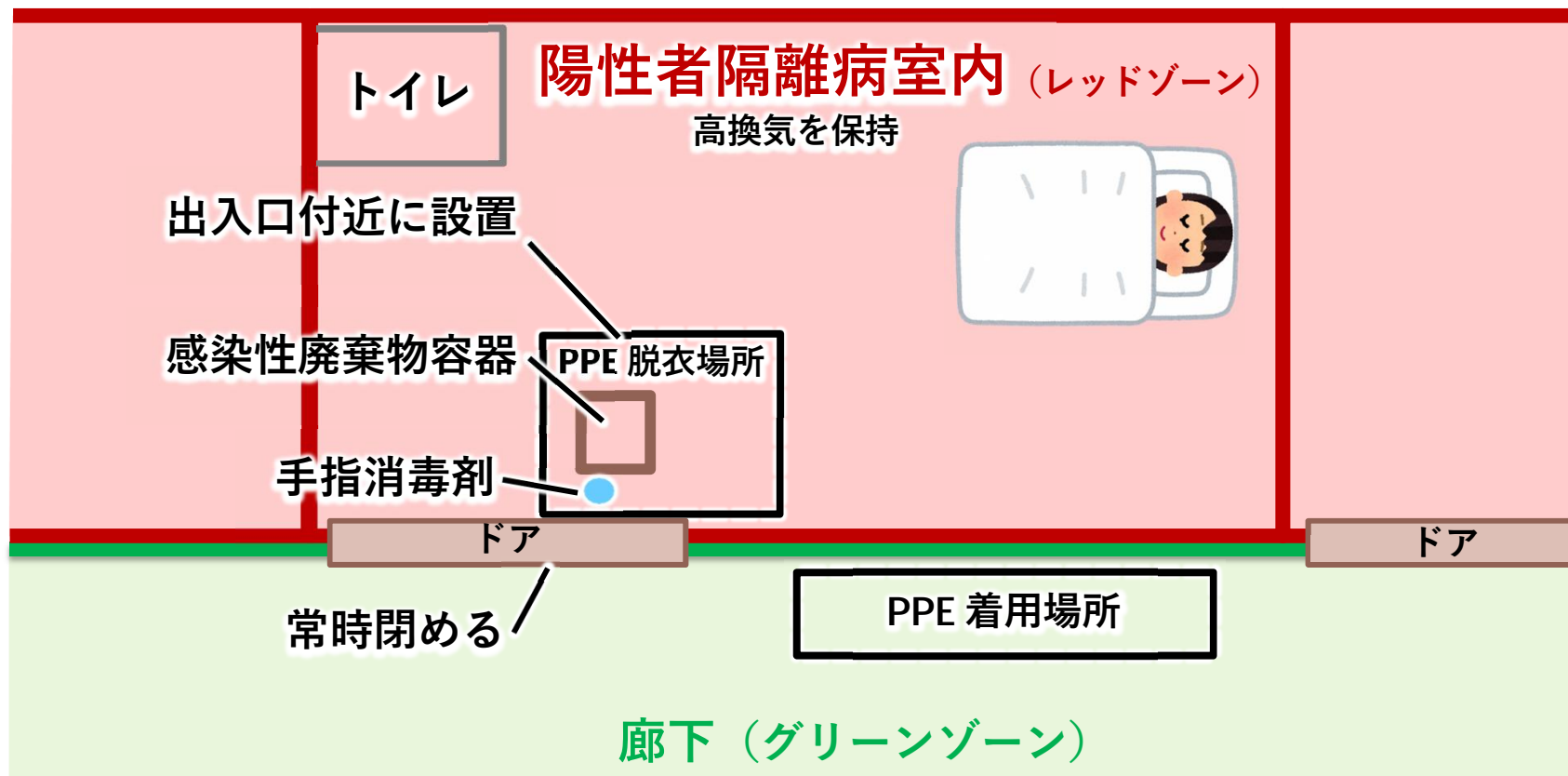
PPE脱衣場所の例



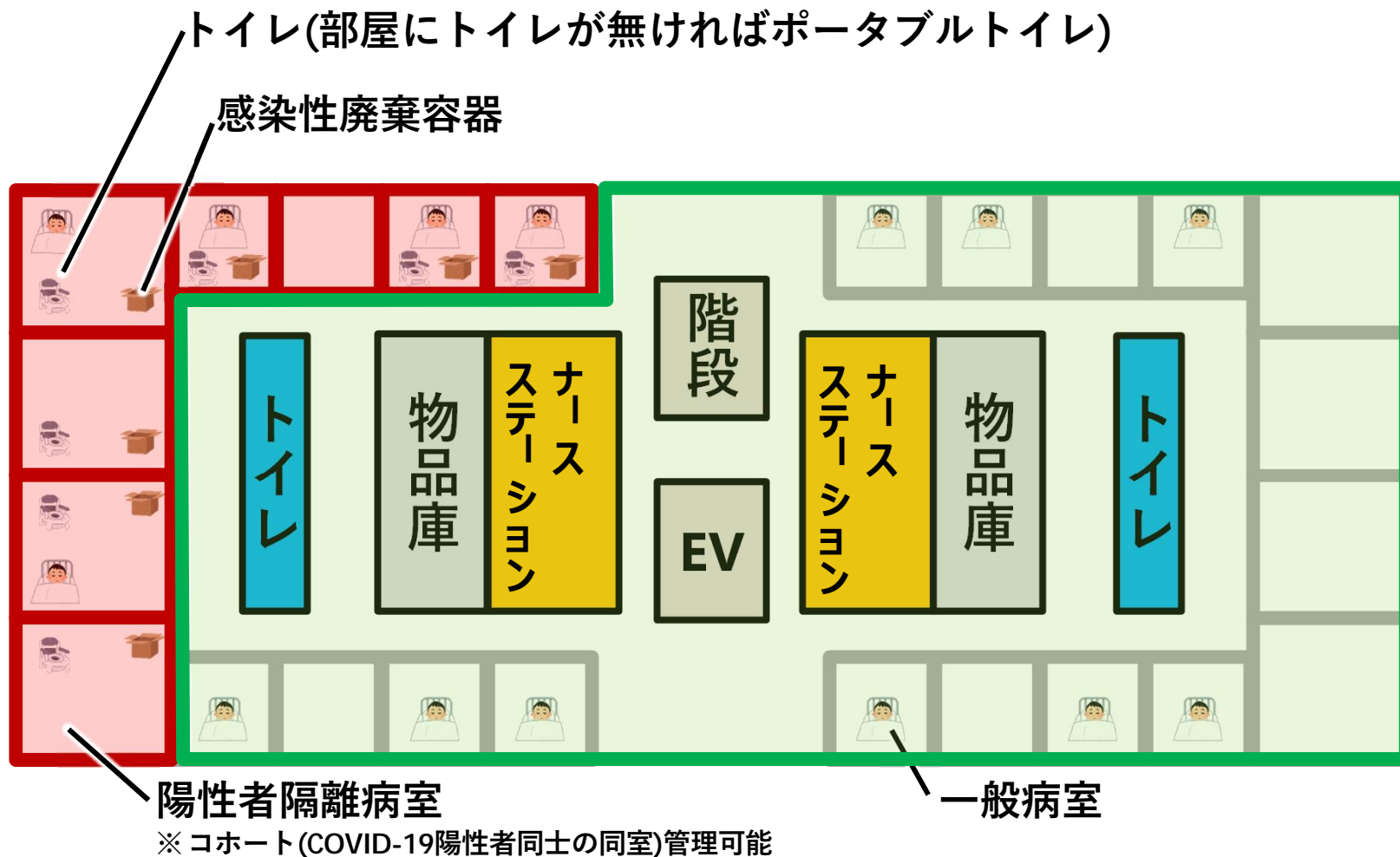
※フェイスシールドをエタノールクロス等で消毒して再使用する場合は、消毒後にグリーンゾーンで保管する。

実際の事例に基づき研究班において作成

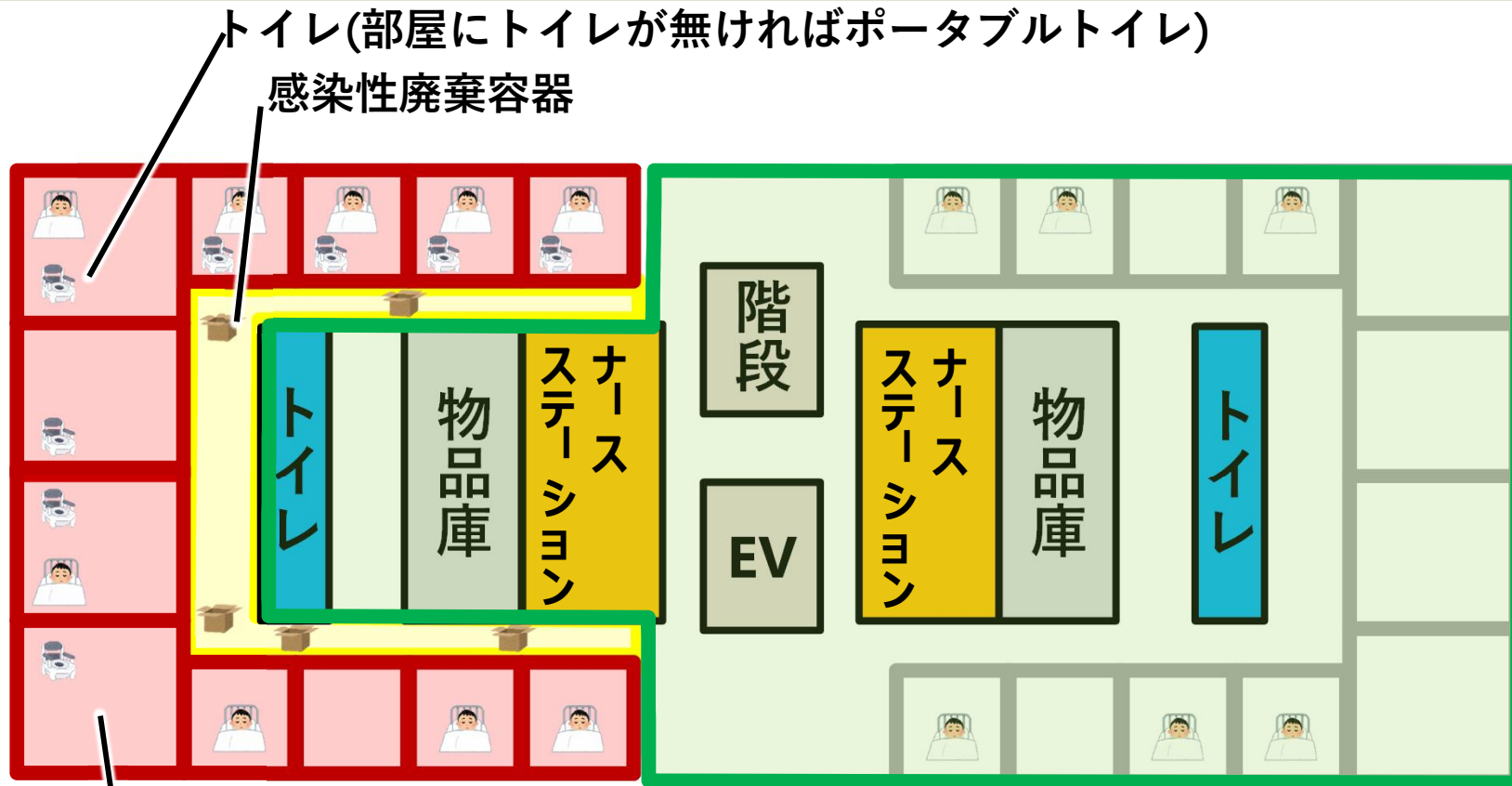
PPE着脱場所の例(上からの視点)



医療施設の基本的なゾーニング

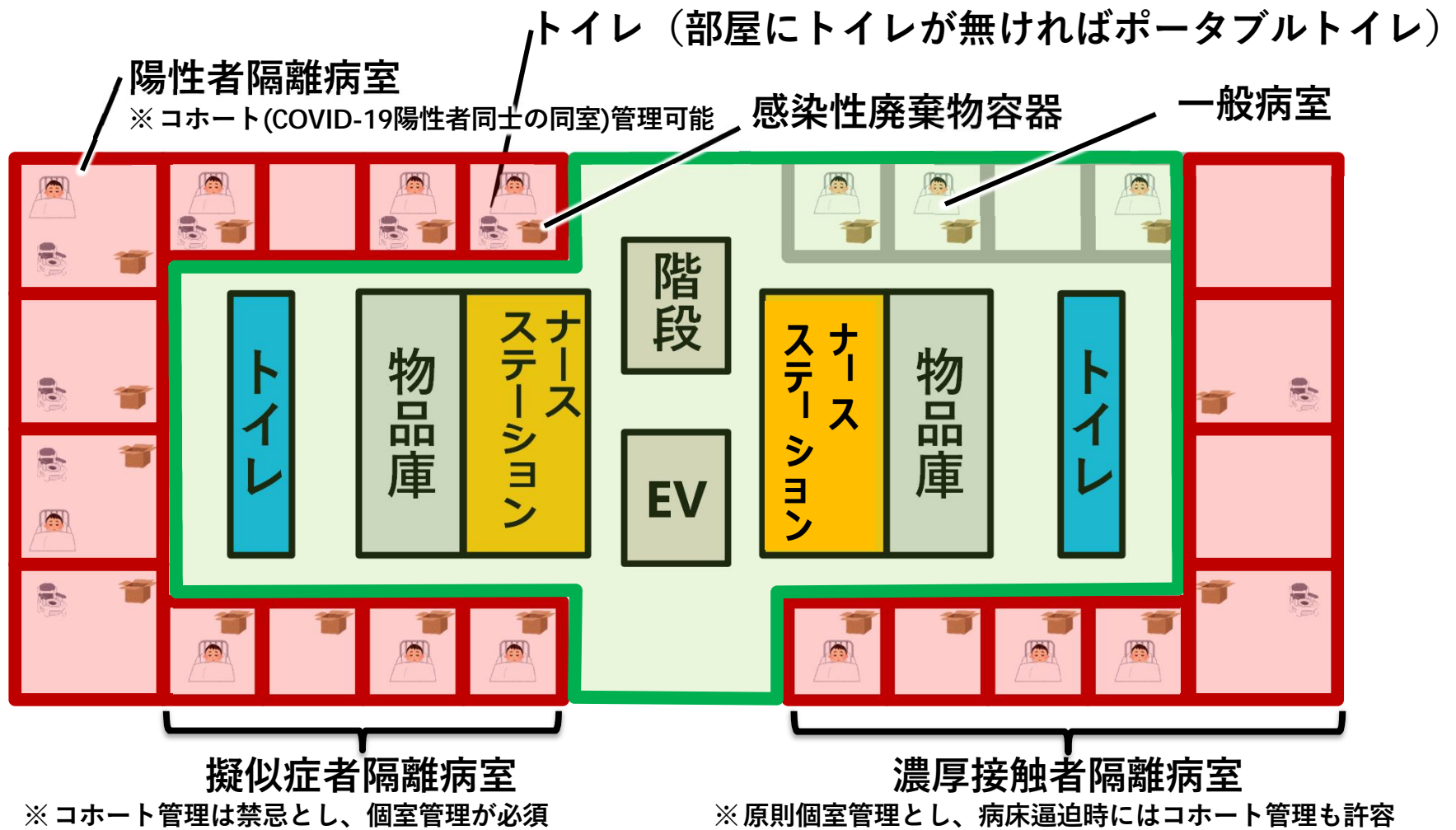


イエローゾーンを設定する場合



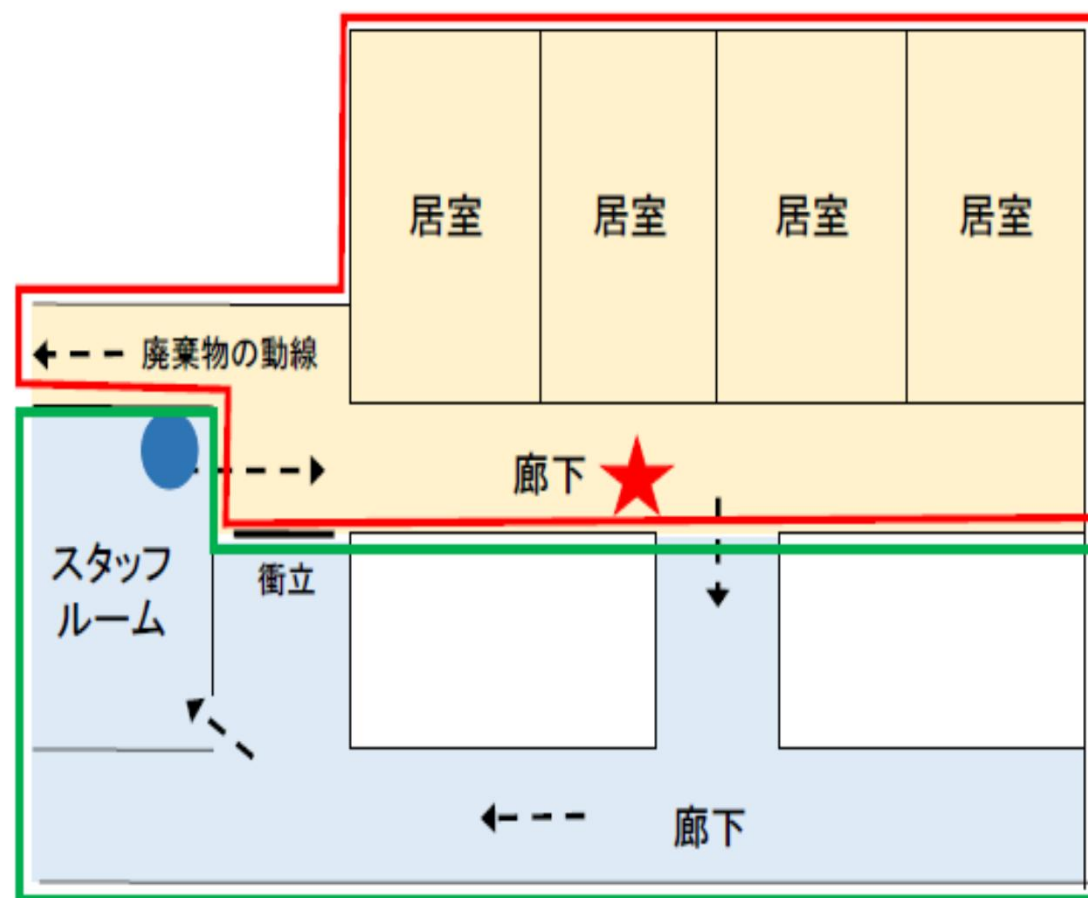
※隔離室内にPPE脱衣場所が設定できない場合は廊下をイエローとしてPPE着脱を行う
(例：部屋の構造や患者の病状のために、病室内に消毒液や廃棄容器を置けない場合)

濃厚接触がいる場合



居室部分の一部を汚染区域と設定した例

担当する職員が少なく、個人防護具が不足気味であることを踏まえ
居室部分の一部を汚染区域と設定



● 着用場所

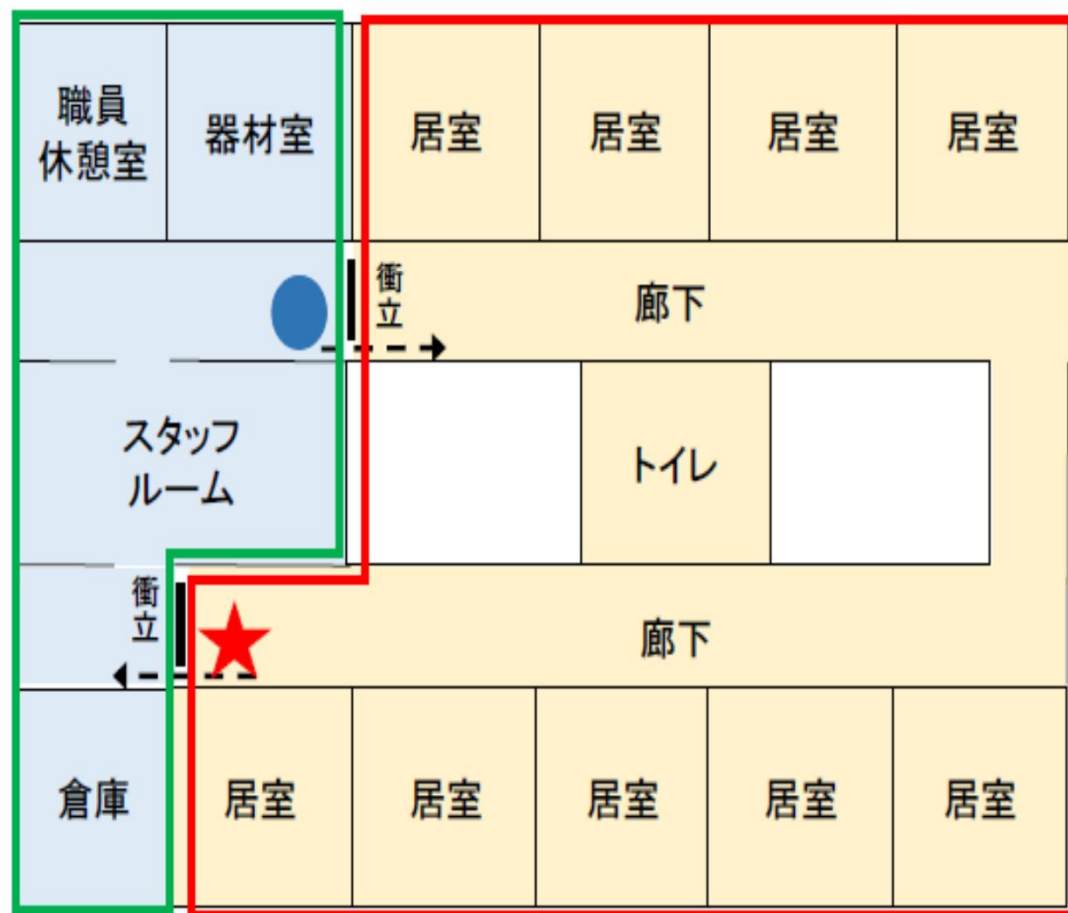
スタッフルーム内に設定
ここで個人防護具を着用し
汚染区域に入る

★ 脱衣場所

廊下の清潔区域への出口に
近いところに設定
ここで個人防護具を外して
清潔区域に戻る

居室部分の大部分を汚染区域と設定した例

感染者数が多いこと、トイレが共用であること、個人防護具が不足気味であることから、居室部分の大部分を汚染区域と設定



● 着用場所

廊下の清潔区域内に設定
ここで個人防護具を着用し
汚染区域に入る

★ 脱衣場所

廊下の清潔区域への出口に
近いところに設定
ここで個人防護具を外して
清潔区域に戻る

ADL維持Vs感染制御

感染終息→行動制限

行動制限→ADL低下

さあ、どうする？



感染対策チェックリスト

大阪府ホームページ

ホーム

福祉・子育て

社会福祉法人

社会福祉施設における新型コロナウイルス
感染症対策



引用文献

東北大学大学院感染制御ネットワーク「ゾーニングの考え方」

青森県看護協会

「介護施設で働く看護・介護職のためのスキルアップセミナー」